

神戸市歴史公文書館条例

令和 8 年 3 月 31 日

条例第 29 号

(設置)

第 1 条 神戸市公文書等管理条例(令和 8 年 3 月条例第 28 号)の趣旨にのっとり、特定歴史公文書等(同条例第 2 条第 7 号の特定歴史公文書等をいう。以下同じ。)を適切に保存し、及び市民等の利用に供するため、公文書館法(昭和 62 年法律第 115 号)第 5 条第 1 項の規定に基づき、神戸市歴史公文書館(以下「歴史公文書館」という。)を設置する。

(位置)

第 2 条 歴史公文書館の位置は、次のとおりとする。

神戸市兵庫区本町 2 丁目 3 番 33 号

(事業)

第 3 条 歴史公文書館においては、第 1 条の目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。

- (1) 特定歴史公文書等を整理及び保存し、一般の利用に供すること。
- (2) 特定歴史公文書等に関する調査研究を行うこと。
- (3) 特定歴史公文書等の利用の促進を図るための普及活動を行うこと。
- (4) 前各号に掲げるもののほか、第 1 条の目的を達成するために必要な事業

(施設)

第 4 条 歴史公文書館に次に掲げる施設を置く。

- (1) 閲覧室
- (2) 展示室
- (3) 前 2 号に掲げるもののほか、歴史公文書館を利用する者の便益に供する施設

(開館時間及び休館日)

第 5 条 歴史公文書館の開館時間及び休館日は、規則で定める。

(入館料)

第 6 条 歴史公文書館の入館料は、無料とする。

(入館の制限等)

第7条 市長は、次の各号のいずれかに該当する者に対しては、歴史公文書館への入館を拒絶し、又は歴史公文書館からの退館を命ずることができる。

(1) 公の秩序又は善良な風俗を害するおそれがある者

(2) 他人に危害を及ぼし、又は他人の迷惑になるおそれがある者

(3) 他人に危害を及ぼし、又は他人の迷惑になるおそれがある動物その他の物を携帯する者

(4) 施設若しくはその附属設備（以下「施設等」という。）又は歴史公文書館に所蔵する特定歴史公文書等その他の資料（以下「所蔵資料」という。）を汚損し、損傷し、又は滅失させるおそれがある者

(5) 次条の規定に違反した者

(行為の禁止)

第8条 何人も、歴史公文書館内において、歴史公文書館の管理上支障がある行為で規則で定めるものをしてはならない。

(損害の賠償等)

第9条 施設等又は所蔵資料を汚損し、損傷し、又は滅失したときは、これを原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、市長は、やむを得ない事由があると認めるときは、賠償額を減額し、又は免除することができる。

(施行細目の委任)

第10条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

この条例は、令和8年6月1日から施行する。